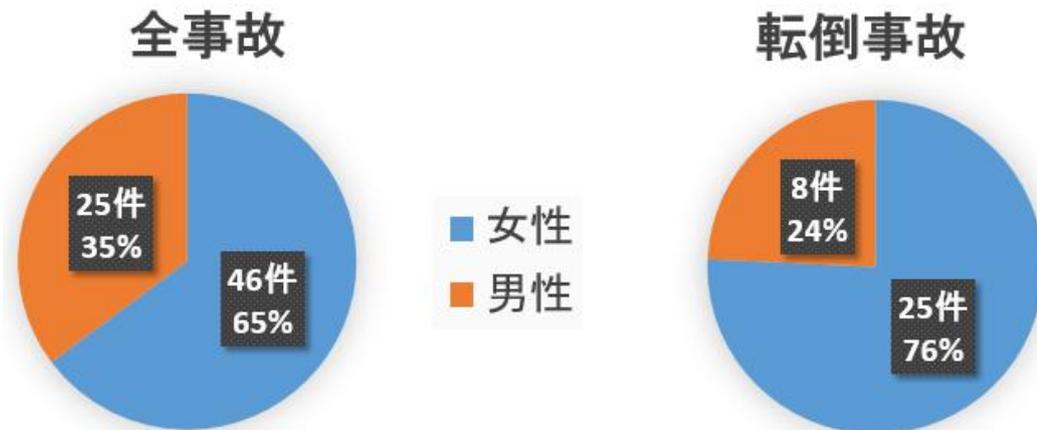


千葉労山の転倒事故分析報告

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

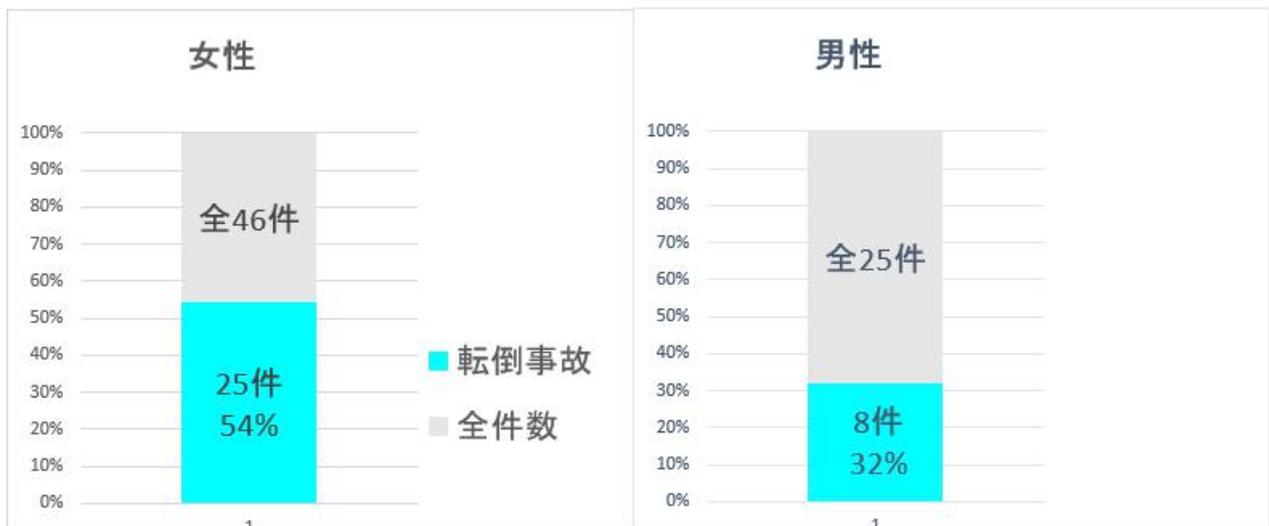
教育遭難対策委員会では、転倒事故防止を重点目標として取り組んでおり、過去8年間の転倒事故33件を分析したので報告します。（2021年11月）

(1) 事故者の男女比



女性の方が事故が多いが、転倒事故はもっと多い。

(2) 全事故に占める転倒事故の割合



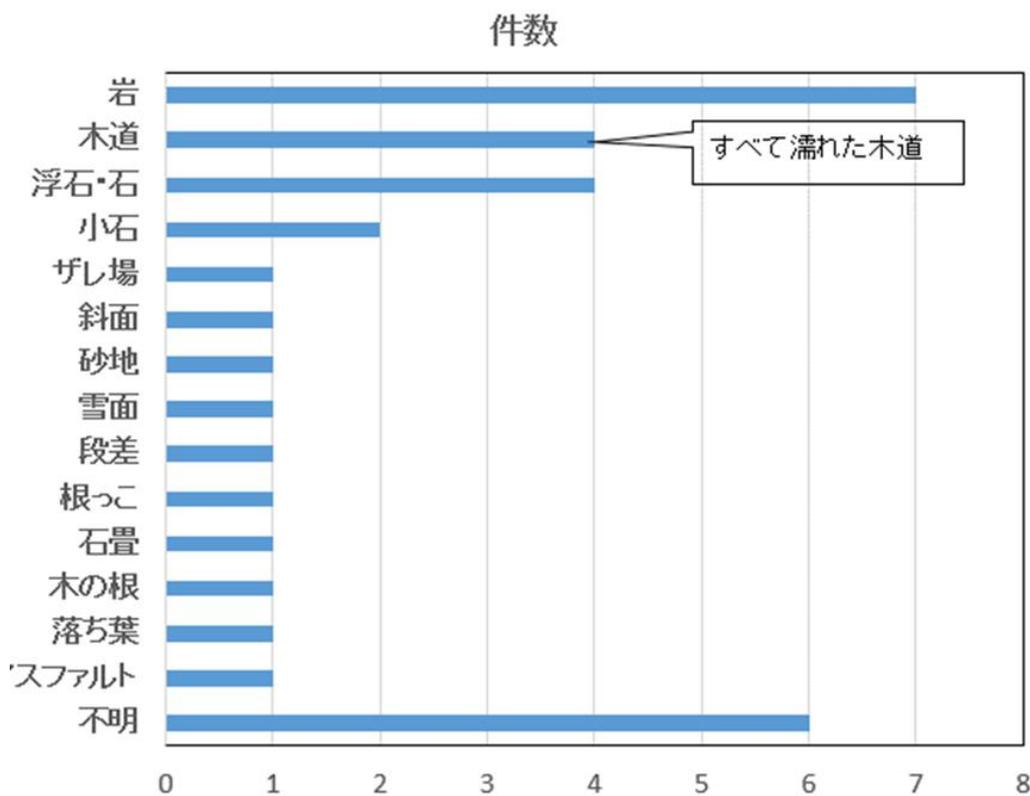
女性の方が転倒事故の割合が多い。

(3) 高齢者の転倒事故の割合



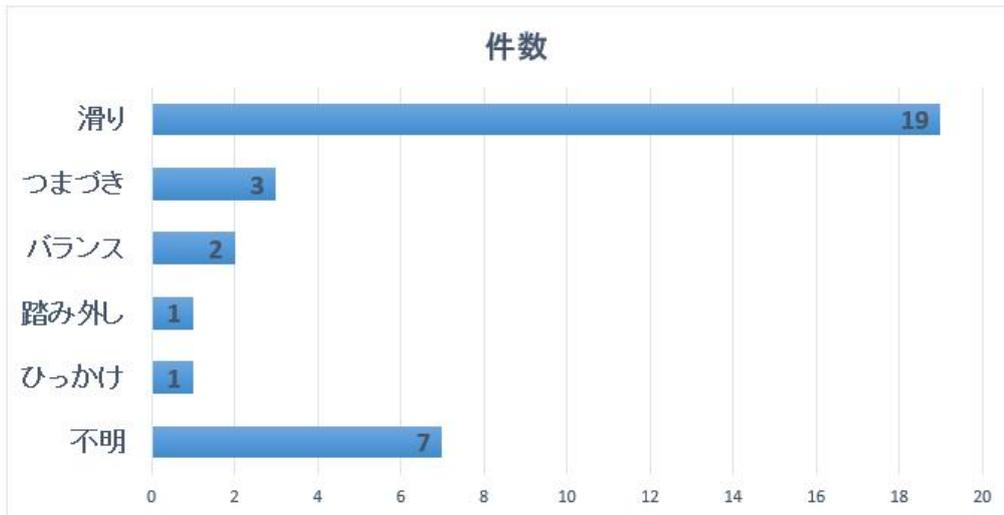
やはり高齢者は転倒事故が多い。

(4) 転倒場所



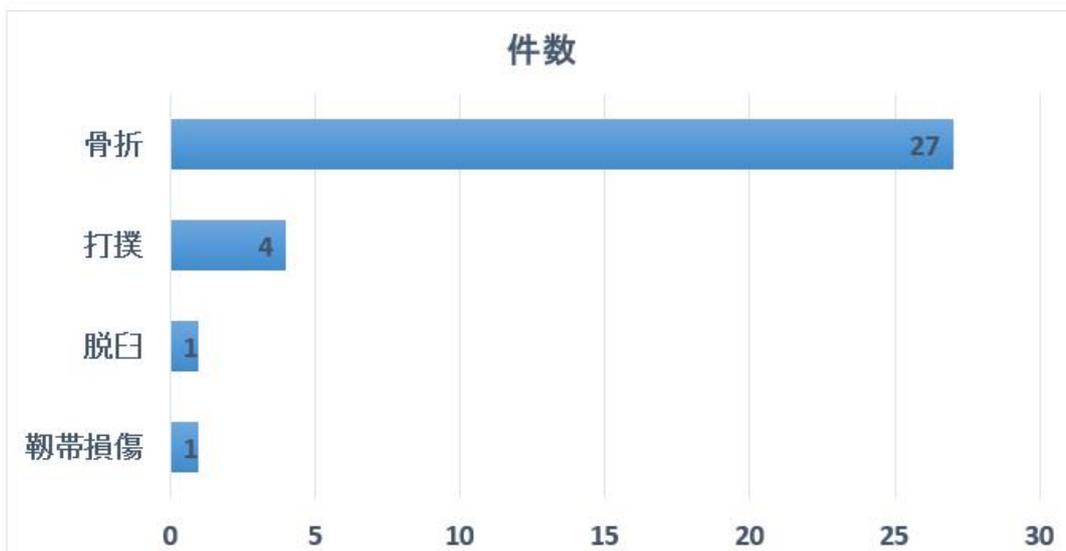
岩、木道、浮石・石が要注意であるが、その他にもさまざまな場所で転倒しており、登山道ではあらゆる場所で転倒する可能性があるということである。

(5) 転倒の直接原因



滑りが圧倒的に多く、注意力不足が根本原因と考えられる。
筋力・バランス力不足が原因と考えられる、つまづき、バランスは以外に少ない。

(6) 転倒後の外傷



転倒すると即骨折して重大事故となる。

(7) 分析結果からの提言

転倒事故の多くは、岩および濡れた木道で滑っての転倒です。
それらの場所では、慎重に行動してください。
特に65歳以上の女性は、注意してください。

以上